



北京郊外の滞在型リゾート「古北水鎮」と 上海南部の水郷古墳リゾート「烏鎮」

中国国家観光局 駐日本代表処

水郷古墳リゾートとしてオープンした上海南部の景勝地「烏鎮」、北京北部・万里の長城のふもとに明・清時代の中世の町並みを復元した滞在型リゾート「古北水鎮」。近年、中国では歴史と現代を融合させた新しい形のリゾートに注目が集まり、多くの中国人旅行者のみならず外国人旅行者にも人気が高まっています。



政治・経済・文化の中心「北京」

中国の首都・北京は、全国の政治・経済・文化の中心地であり、国際交流の中心都市です。また悠久の歴史と絢爛たる文化をあわせ持つ世界でも有数の古都のひとつです。そして昨年、北京は河北省とともに2022年冬季オリンピックの開催地に決まりました。2008年の夏季オリンピックに続き史上初の夏冬開催都市となります。

北京の観光スポットとしては「天安門」や「故宮博物院(紫禁城)」、「明の十三陵」、「頤和園」、「周口店(北京原人遺跡)」、「天壇」など、既に多くのメディア、ガイドブックで取り上げられている定番スポットが有名ですが、近年、北京特有の歴史ある細い路地「胡同」(フートン)や、4つの家屋が中央の中庭を取り囲むように建てられている伝統的家屋建築の「四合院」(しごういん)、文具、古本、書画、印章の類を扱う骨董街「琉璃廠街」など、古き良き北京をしのぶ観光スポットに注目が集まっています。



新たな中国の滞在型リゾート「古北水鎮」

世界遺産「万里の長城」のふもとに明清時代の中国の町並み(水郷都市)を復元した「古北水鎮」。施設面積だけでも東京ドーム10倍に匹敵するこの新たな町並みにはレンガの建物が連なり、まるで中世の中国にタイムスリップしたよう。そしてここにはデザインホテルや瀟洒なレストランなどに加えて足湯まで完備され、まるで異次元の世界に足を踏み入れたかのような空間が広がっています。



みどころ

万里の長城(司馬台長城)からの夜景
夕暮れから万里の長城(司馬台長城)に登れば、暖色優しい光彩にライトアップされた水郷の全景と、光の帯がつづく長城の夜景が一緒にご覧いただけます。現実とは思えない美しさです。



司馬小焼酒坊

地酒の酒蔵を模した館内では、蒸留工程や使用する道具などが展示されています。

永順染坊

古代中国から続く染物の歴史や作品をご覧いただけます。制作体験工房も併設されています。

八旗会館

精強を誇った「清王朝八旗軍」の陣屋の様子が見学できます。

足湯めぐり

龍鳳池足湯の泉広場では、散策の途中に無料でほっこり足湯が楽しめます。

水郷内の乗り物

遊覧船

ゲストセンターすぐの棧橋から日月島を経由して万里の長城のふもとまでのんびり進む手漕ぎ船が運航しています。夜景遊覧には特におすすめです。

電気カート

レトロな外観のカートで、水郷の外周をらくらく長城までご案内。各ホテルへの移動にも便利です。

その他施設

宿泊(ホテル)

古北水鎮には、5ツ星クラスのデラックスホテルからゲストハウスまで、様々なスタイルの宿泊施設が用意されています。旅のスタイル・目的に合わせてお選びください。

レストラン

自慢の名物料理から夜景の見えるレストラン、おしゃれなカフェまで、バラエティ豊かなレストランが水郷内のあちこちでオープンしています。

温泉・スパ

水郷内まで引き入れられた温泉は、湧出温度38℃、弱アルカリ性の泉質で、美肌効果があります。なお日本とは異なり、水着着用の混浴となりますので、予めご了承ください。

エンターテイメント

水郷内では、いつもどこかで賑わいを集める伝統芸能や演出が催されています。(無料)



中国第一の都市「上海」

長江が海に流れ込む揚子江デルタに位置する中国最大の商工業都市・上海は、重要な金融センター、貿易と水運の拠点です。古くから外国との窓口となっており、19世紀ごろには外国の租界が作られ、現在も当時の建築物が雰囲気ある上海の町を彩っています。



昼の外灘



夜の外灘

19世紀後半～20世紀前半の租界地区に建設された当時の西洋式高層建築が立ち並ぶ「外灘」、明代に建築された江南庭園様式の代表的な作品「豫園」といった歴史を感じさせるものから、今年2016年に完成した中国一・世界第二の高さを誇る「上海タワー」に代表される高層ビル群まで、上海には新旧の観光スポットが目白押しです。そして、今年2016年6月には中国本土初となる「上海ディズニーリゾート」がオープンしています。



上海タワー



豫園湖心亭



上海南部の景勝地「烏鎮」

浙江省 桐郷市にある「烏鎮」は、町並みや数々の伝統文化が魅力的な水郷の町です。1300年の歴史を有する町は十字の形をした水路によって東南西北、観光エリアの東柵・西柵、生活エリア(ローカルエリア)の南柵・北柵の4エリアに分けられています。

東柵は約1.5kmにわたり昔ながらの町並みが広がる人気の水郷観光地です。烏鎮名物の地酒・三白酒と烏酒を醸造する酒蔵「公生糟坊」、烏鎮の名産・藍染め製品を展示している「宏源泰染坊」、烏鎮出身の作家・茅盾の旧居で数々の作品が展示されている「茅盾紀念館」の他にもみどころはたくさん。古い町並みを散策したり、古運河を行く遊覧船に揺られながら素朴な風景を眺めるなど、、、その楽しみ方は色々です。

西柵は、昔の水郷の町をそのまま現代に蘇らせるというコンセプトのもと、2007年に新たに整備された滞在リゾート型の観光地です。

ここでは、水郷、建物、橋などの多くが、ほぼ昔と同じ姿に復元される一方、町中には観光地にありがちな看板や幟、店員の呼び込みといった光景は一切みられず、昔の時代にいるような奇妙な感覚に陥ります。西柵にも染色工房や美術作品・歴史資料の展示館、歴史的建造物といった観光スポットはありますが、やはり西柵に来たならば一度は夜景観賞をおすすめします。ライトアップされた烏鎮の夜景の美しさには目を見張るものがあります。

東柵の古運河



東柵の酒蔵「公生糟坊」



ライトアップされた西柵の夜景



西柵の町中